資源循環型社会を目指して

●くり返し使うようにしましょう。
●壊れたら修理しましょう。
●一定期間しか使わないものはレンタルしましょう。
●食品は、食べられない部分以外は徹底して料理し、ごみにしないようにしましょう。

■ものを排出するときは

●不用となった衣類や贈答品などは、フリーマーケットでの販売、家具や家電製品など比較的大きなものは、登別消費者協会が実施している不用品ダイヤル市（『広報のぼりべつ15日号』に掲載）に出品するようにしましょう。

▲『リサイクルまつり』で開かれたクリンクル市

●紙や段ボール、金属などの有価物は、町内会などが行っている集団資源回収や回収業者に出すようにしましょう。
●生ごみは、コンポスト容器を利用し、たい肥化して家庭菜園やガーデニングなどで再利用しましょう。

ごみを出す前にもう一度ごみの中身の確認を

●排出するものが本当に不用なものかもう一度確かめましょう。
いま、季節はずれの衣類を燃やせるごみに出そうとしているみなさん、その衣類は本当に使えなくなった衣類ですか。もう一度確かめてみましょう。
●排出しようとしているものの中に資源として再利用できるものが混じっていないかもう一度確かめてみましょう。
●燃やせないごみの中に資源となるビンや缶が混じっていませんか。もう一度中身を確かめてみましょう。
●排出しようとしているごみは正しく分別されてますか。また、そのごみの収集日ですか？　もう一度確かめてみましょう。

資源ごみ（ビンや缶、ペットボトル）のリサイクル

びんのリサイクル

ガラスびんには、リターナブルびんとワンウエイびんがあり、それぞれリサイクルの方法が違います。
リターナブルびんとは、洗浄してそのまま繰り返し使用できるびんのことです。代表的なのがビールびんや一升びんなどです。ビールの大びんで、およそ12回程使用することができます。しかし、リターナブルびんも再使用できないような傷がつくとワンウエイびんと同じようにリサイクルされます。
ワンウエイびんは、その名が示すとおり、1回だけの使用のためにつくられているびんです。使用後は砕いて『カレット』というガラスくずにし、ブロックなどの舗装製品やガラスびんなどの原料へとリサイクルされます。
このように、ガラスは溶かせば何度でも再生できるリサイクルの王様です。ガラスびんを無駄にしないようにしましょう。

かんのリサイクル

集められた缶は、クリンクルセンターでスチール缶とアルミ缶に分けられます。

ごみ分別についてのQ&A

それではここでちょっと一息入れて、みなさんと一緒に頭の体操をしましょう。
私がみなさんに、ごみの分別について質問をしますので、ごみの5分別（『燃やせるごみ』『燃やせないごみ』『粗大ごみ』『資源ごみ』『有害ごみ』）で答えてください。
【答えは、5ページにあります】

はじめは、簡単なものから質問します。

Q1 写真のような大型の『ソファー』はどんなごみでしょう。

Q2 さあ、次は、女性のみなさんが使用している『化粧品のびん』です。『資源ごみ』と言う方はいませんか。

Q3 次は、『蛍光管』ですがどんなごみでしょう。

Q4 次は、冬の寒い日に使用する『使い捨てカイロ』ですが、どんなごみでしょう。

【4ページに続く】